



知らないうちに見えなくなっている？

眼科 医長 堤 雅幸

緑内障りょくないしょうという病気を知っていますか？日本人の40歳以上の20人に1人がかかると言われています。決して珍しい病気ではなく、自分では気付かないうちに発症している代表的な目の病気です。軽症では自覚症状に乏しいため、別の症状で眼科受診をして偶然見つけたたり、検診で指摘されて初めて病気になっていたことがあったりするケースが散見されます。

どうして見えなくなっているのに自分では気付かないのでしょうか。もともと人の目には「盲点」という見えない部分があるのですが、日常生活で不便を感じることはありません。これは目が2つあることでお互いに見えない部分を補い合っているためです。それゆえ、見えない部分に気付くには片目ずつで物を見て、欠けている部分を自覚するしかありません。ただ、軽症の場合、たとえ片目で見ても変化がわずかであるため、自分で気付くことは難しいでしょう。

でも、そんな症状が乏しい病気であっても、検診を受けることにより発見することができます。緑内障は目の神経の病気であり、検診で眼底写真を撮影するだけで病気になっている可能性があるかどうか分かります。もし、実際に緑内障かどうかを診断するためには、眼科を受診したうえで、次の検査を行う必要があ

ります。

①眼底検査：神経の傷んでいる状態を詳細に確認するため、目薬により瞳孔を広げ目の中を調べる検査です。目薬の作用で数時間ほどまぶしさを感じたり、視界がぼやけて見えたりしますので、検査を受ける際はご自身で運転はせず送迎してもらうか、公共交通機関を利用しましょう。

②視野検査：見えている範囲を確認する検査で、見えていない部分がわかります。

それでは、緑内障が見つかったとき、治療して治すことはできるのでしょうか。残念ながら現在の医学ではすでに見えなくなっている状態を改善させることはできません。良くすることができないのであれば見つけても意味がないのでは？と思う方もいるでしょう。確かに治すことはできませんが、さらに悪くならないようにするための治療を行うことはできます。まずは目薬をして神経の負担を減らすことで、これ以上傷まないようにします。目薬だけでは効果が不十分であれば手術を行うこととなります。治療の目的は生涯失明に至らないように目を保護することです。治療を受けていてもよくなった実感は得られませんが、光を守るために継続していくことが大切です。

9月の救急医療機関

	外科休日当番医 (8:30～翌8:30)	歯科休日当番医 (9:00～12:00)	電話番号	住所
5日(日)	市立病院	啓南歯科医院	0125-24-1020	滝川市中島町4丁目1番1号
12日(日)	滝川脳神経外科	よりもと歯科医院	0124-22-4618	芦別市北4条西3丁目7-8
19日(日)	滝川脳神経外科	長谷川歯科医院	0125-32-3043	赤平市大町1丁目3番地
20日(月)	市立病院	松原歯科医院	0125-52-6480	砂川市吉野1条南4丁目7-17
23日(木)	市立病院	赤平ファミリー歯科クリニック	0125-32-4884	赤平市東文京町3丁目1番
26日(日)	滝川脳神経外科	杉村歯科医院	0164-22-2323	深川市4条9番28号

※市立病院…Tel 22-4311/ 大町2丁目2-34 滝川脳神経外科…Tel 22-0250/ 西町1丁目2-5
休日の内科・小児科の診療は市立病院で受け付けます(8時30分～翌8時30分)。

平日の時間外診療の協力医療機関については当番病院案内ダイヤル(Tel 22-2299)でお知らせします。